



VOL 7

2008 特別号

発行 2008 年 1 月 16 日
日本山岳会 山岳地理クラブ
URL www.jac.or.jp/doukoukai/

特集・AGC の中央分水嶺踏査



社団法人日本山岳会・山岳地理クラブ

***** 目次 *****

はじめに	代表 北野 忠彦	2
第1章 概要		
1-1 AGCの踏査範囲と踏査ポイント		3
1-2 担当区域とはこんなところ	平野 彰	3
1-3 AGC踏査の概要	北野 忠彦	4
第2章 踏査報告		
2-1 甲子峠～甲子山～旭岳～須立山～鏡沼口～三本槍岳～大峠		6
甲子山へのヤブルート	近藤 善則	6
雨の中、再び甲子山へ	片野すみ子	7
坊主沼調査	平野 彰	7
旭岳の猛烈な藪の中で失ったもの	羽鳥 和江	8
大峠～三本槍	北野 忠彦	8
大峠で合流、三本槍へ	近藤 善則	9
2-2 大峠～三倉山～番屋のCOL～赤柴山～黒滝股山北		10
大峠から流石山へ、最初の分水嶺を踏む	近藤 善則	10
番屋川遡行のはじまり	北野 忠彦	11
番屋川ルートの調査行	平野 彰	11
予備探索山行 番屋川から番屋のCOLへ	西村智磨子	12
大峠～大倉山～番屋川縦走隊	森合 孝信	13
分水嶺踏査を終えて	今井 秀正	14
AGC大分水嶺フィナーレ	北野 忠彦	15
2-3 黒滝股山北～黒滝股山～黒滝股山南		16
今更ながらにして思うこと	井上 千夏	16
黒滝股山を越えて「大分水嶺」へ	井上 希夫	16
東の方向に向け藪の中に入った(東北隊)	西村智磨子	17
近藤さんの眼鏡はどこへ飛んでいったのでしょうか(南西隊)	鶴田 泰子	18
隔田沢偵察	北野 忠彦	18
2-4 黒滝股山南～大萱峠～上海岳～大川峠		19
大川峠への林道偵察	遠山 元信	19
分水嶺踏査に参加して	大西 攻	20
栗生沢偵察	北野 忠彦	20
上海岳の思い出	鶴田 貴	21
大川峠から上海岳の先まで	遠山 元信	22
大萱峠道探索・県境尾根	半田 明稔	22
2-5 (福島区域) 布引山～鎌房山～大白森山～甲子峠		24
鎌房山手前林道	平野 彰	24
大白森山から鎌房山への密藪	近藤 善則	25
藪の鎌房山をつなぐ	今井 秀正	25
鎌房林道サポート隊	遠山 元信	26
雪の鎌房山 再訪で乾杯	高橋 素子	27
第3章 分水嶺あれこれ		
3-1 分水嶺で火が点いたアマチュア無線	遠山 元信	28
3-2 峠と峠越えの路	近藤 善則	28
3-3 湖沼の記憶	平野 彰	29
3-4 栗生沢付近の情報と聞き取り調査	遠山 元信	30
3-5 岩代国若松第一区全図について	平野 彰	32
3-6 那須基線	近藤 善則	33
第4章 資料編		
4-1 踏査の集計		35
4-2 踏査参加者		35
4-3 お世話になった方々		35
4-4 踏査区域の資料・文献		36
4-5 報告書集		36
附図-1 中央分水嶺踏査 担当区域資料表		
附図-2 山岳地理クラブ 記録表		49
おわりに	近藤 善則	50

はじめに

代表 北野 忠彦

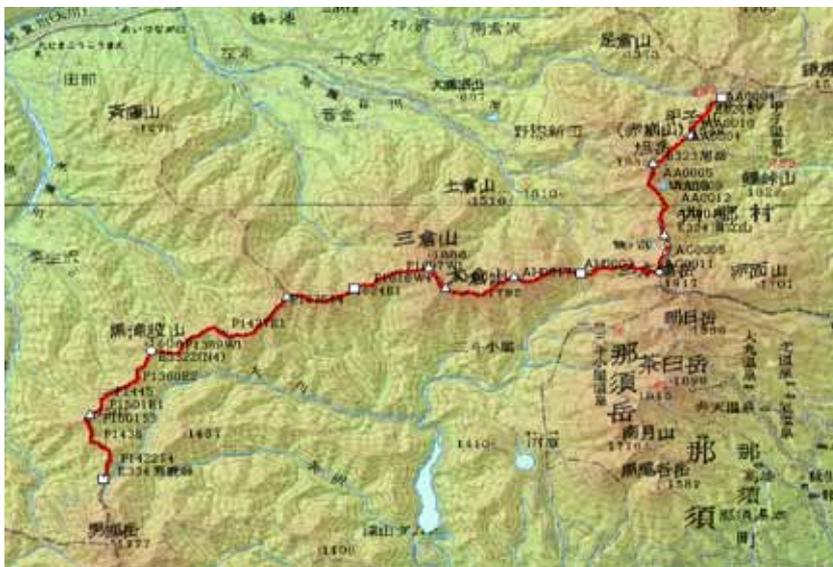
日本山岳会100周年記念事業の一環として進められてきた中央分水嶺踏査は2006年11月に全てのルートが完踏され、日本列島が一本の線で繋がった。

わが山岳地理クラブ(AGC)は、当初一般公募も視野に入れて、三平峠から鳩待峠までを第一候補として希望したが、他クラブとの兼ね合いもあり、帝釈山脈・甲子峠から大川峠までと山王峠から安が森峠までの2箇所が担当区域となった。その後、参加の同好会が増えたため、後者の区域を譲ることになった。1/2万5千分の地形図での検討の結果、三本槍岳西の大峠から西方は、栃木側からの入山はかなり困難と思われ、主として南会津側からアプローチすることにした。

2004年5月21日の第1回山行から、2006年5月5日のフィナーレ山行まで、約3年に及ぶ踏査を行ってきたが、「日本列島中央分水嶺踏査報告書」には、会員22名(他にサポート等の非会員多数)が延べ20日にわたって踏査したことになる(同資料6)。また、同報告書添付のCD-ROMには19のAGC報告書が収められている。しかしこれらは、中央分水嶺に達してからの分水嶺上の報告書であり、当然これらのほかに、中途断念した山行や偵察山行は含まれておらず、これらを加えればその数はさらに増加する。

フィナーレ踏査を終えて早くも1年過ぎた今年の春、遅まきながら、これらの山行も含めすべてをまとめて記録に残そうという事になった。

しかしいざ纏めていこうとすると記憶もあいまいになり、いたずらに時間だけが経過し、まとめていくのが困難を極めたが、会員の努力により、このほど漸く纏める事ができた。踏査に参加した方はもとより、この踏査を陰日向になって、応援・協力していただいた方々に心からお礼を申し上げる次第です。われわれの踏査がどういうものであったか、多少なりとも知っていただければ幸いです。



以下省略

残部ある限り頒布いたします

A4 51 ページ 中綴製本 頒布価格 ¥1200-円

お問い合わせは 近藤 (03-5999-2155) まで連絡ください